

令和3年社会生活基本調査 生活時間・生活行動に関する 結果の概要について

総務省が、8月31日（水）14時30分に公表した社会生活基本調査（生活時間・生活行動）の集計結果について、概要は次のとおりです。

（本県の状況）

- 生活時間（1日の生活時間配分） ※別表1、2参照
- ・5年前に比べ
 - 「休養・くつろぎ」 21分増加（2時間 0分）
 - 「移動（通勤・通学除く）」 10分減少（18分）
 - 「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」 8分減少（2時間20分）
 - 「交際・付き合い」 7分減少（9分）

6歳未満の子供を持つ世帯の

- 「家事関連時間」 夫は15分増加（1時間42分）
妻は40分減少（6時間35分）

夫婦間の差は縮小するが、依然として一定時間存在

- 生活行動（1年間の主な生活行動） 行動者率：10歳以上人口に占める過去1年間に該当する種類の活動を行った人の割合（%）

- ・5年前に比べ
- 「学習・自己啓発・訓練」の行動者率は34.1%（2.3ポイント上昇）
- 「ボランティア活動」の行動者率は17.4%（8.8ポイント低下）
- 「趣味・娯楽」では
- 「スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム」が上昇
- 「CD・スマートフォンによる音楽鑑賞」が上昇

【全国の状況】

- 生活時間（1日の生活時間配分）
- ・5年前に比べ
 - 「休養・くつろぎ」 20分増加（1時間57分）
 - 「移動（通勤・通学除く）」 7分減少（22分）
 - 「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」 7分減少（2時間 8分）
 - 「交際・付き合い」 7分減少（10分）
- 6歳未満の子供を持つ世帯の
- 「家事関連時間」 夫は31分増加（1時間54分）
妻は 6分減少（7時間28分）
- 夫婦間の差は縮小するが、依然として一定時間存在

※全国のみ

平日、有業者で「テレワーク」をした人は全体の6.7%
「テレワーク」をしていない人に比べ
→25～34歳では「睡眠」「趣味・娯楽」、
35～44歳では「育児」、
45～54歳では「睡眠」「食事」がそれぞれ長い。

- 生活行動（1年間の主な生活行動）

- ・5年前に比べ
- 「学習・自己啓発・訓練」の行動者率は39.6%（2.7ポイント上昇）
- 「ボランティア活動」の行動者率は17.8%（8.2ポイント低下）
- 「趣味・娯楽」では
- 「スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム」が上昇
- 「CD・スマートフォンによる音楽鑑賞」が上昇